

2. 環境管理の充実

環境管理システムの導入

当社は、国際的な環境管理の規格であるISO14001に準拠した環境管理システム(EMS)を、2001年度末までに全社^[注1]に導入し、環境保全活動の継続的な改善に努めています。

注1:一部小人数機関等を除く

EMSの概要

段階	導入事業所	概要
計画・設計	エンジニアリングセンター	発電設備建設の他、新たな事業分野において受注した業務においても、環境への配慮をプロジェクトの計画・設計段階から組織的、体系的に実施していくことが重要との認識から、EMSを導入・運用しています。2001年2月にISO14001の認証を取得しています。
建設工事	建設所他(4事業所)	水質汚濁防止、騒音・振動防止、建設副産物の有効利用など、環境アセスメントなどを通じて計画された環境保全対策を確実に実施するためEMSを導入・運用しています。奥只見・大島増設建設所では1999年9月に建設機関としては日本で初めてISO14001の認証を取得しています。
保守・運用	各火力発電所(全8発電所) 支社・電力所等(全34事業所)	環境法令、環境保全協定などを遵守し、環境負荷の低減に向けた取り組みを組織的、体系的に実施していくためEMSを導入・運用しています。1998年に松浦火力発電所から導入を開始し、2001年度末に導入を完了しました。松浦火力発電所では、1999年6月にISO14001の認証を取得しています。
その他	茅ヶ崎研究センター他(3事業所)	
	本店	地球温暖化問題への対応や循環型社会の形成には、省エネルギー・省資源への取り組みも重要であることから、本店ビルを対象とするEMSを導入し、省エネルギー・省資源への取り組みを行っています。
	合計 51事業所	

2002年3月末現在

環境管理レベルの向上

環境管理システムの効果的な運用

本店では、環境方針の策定、環境に係る組織体制の確立・維持、環境行動計画に沿った実施・運用並びにこれらの点検・見直しを継続して行うため、環境行動動推進会議(議長:担当常務)を定期的(2001年度は5回開催)に開催し、環境保全活動に取り組んでいます。

各事業所では、全社環境方針を受け環境行動

計画を策定し、EMSを運用しています。この事業所EMSをより効果的なものとしていくために、内部環境監査を年2回以上実施しています。また、審査室による監査などにより、各事業所の活動をチェックして、確実性・客観性を高めています。

教育・研修・訓練

本店や事業所では、環境管理レベルの向上を図るため、環境問題に関する社内外の研修、環境事故未然防止のための訓練を積極的に実施しています。

また、EMSの導入と円滑な運用を図るため、内部環境監査員研修を実施しており、2001年度末までに572人が受講しました。

その他にも従業員の意識向上を図るため「環境講演会」を定期的(2001年度は3回開催)しています。



内部環境監査員研修

グループワイドの取り組みの強化

グループ大での環境管理の充実のため、2000年度より「関係会社環境連絡会」を定期的(2001年度は2回開催)に開催しています。2001年度は2回開催し、グループ組織体制の整備やグループ従業員の意識向上などについて意見交換を行いました。

また、今後の円滑なグループ経営の推進を図るうえで、関係会社の環境管理の一層の充実が求められることから、グループの環境管理の推進体制整備に向けて準備を進めています。

関係会社環境連絡会参加会社

- 電源開発株式会社
- 電発ホールディングカンパニー株式会社
- 電発産業株式会社
- 株式会社電発環境緑化センター
- 株式会社電発コール・テック アンド マリーナ
- 開発工事株式会社
- 株式会社開発計算センター
- 開発電気株式会社
- 開発電子技術株式会社
- 株式会社開発設計コンサルタント
- EPDC海外炭株式会社